

## 前期基本計画重点プロジェクト

本市は、次に掲げる5つのプロジェクトを重点プロジェクトとし、施策横断的に取り組むことにより、将来都市像の実現を目指します。

また、各重点プロジェクトには成果指標としてプロジェクト目標を設定します。

### 1 重点プロジェクト「安定して働き続けることができるまち」

市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、仕事の創出、雇用の創出に取り組みます。

関連施策：第1章 男女共同参画社会

第2章 高速交通ネットワーク、地域交通ネットワーク

第3章 農業、林業、水産業、商業・サービス業、観光、工業、就労・雇用

第4章 障害者福祉、子育て支援・児童福祉

プロジェクト目標：市内事業所の従業者数【経済センサス】

現状値	目標値
40,203人(H26)	41,500人(H32)

### 2 重点プロジェクト「多くの人に選ばれることができるまち」

人口減少を抑制していくためには、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新しい人の流れづくりに取り組みます。

関連施策：第2章 土地利用、市街地、住宅、高速交通ネットワーク、  
地域交通ネットワーク

第3章 農業、林業、水産業、商業・サービス業、観光、工業、就労・雇用

第4章 保健活動、医療、子育て支援・児童福祉

第7章 地域間交流・国際交流

プロジェクト目標：人口の社会動態（計画期間の累計）【長野県毎月人口異動調査】

現状値	目標値
—	1,000人(H29～33累計)

### 3 重点プロジェクト「安心して結婚し、子どもを生ま育てることができるまち」

人口減少を抑制していくためには、たくさんの子どもが生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生ま育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。

関連施策：第1章 幼児教育、学校教育、高校教育・高等教育、青少年健全育成、男女共同参画社会

第3章 就労・雇用

第4章 保健活動、医療、ひとり親家庭支援・低所得者福祉、少子化対策・母子保健、子育て支援・児童福祉

プロジェクト目標：合計特殊出生率【佐久市調】

現状値	目標値
1. 5 2 (H 2 7)	1. 7 4 (H 3 3)

### 4 重点プロジェクト「安心して暮らし続けることができるまち」

市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。

関連施策：第2章 土地利用、市街地、公共施設、住宅、高速交通ネットワーク、地域交通ネットワーク

第3章 農業、林業、水産業、商業・サービス業、観光、工業、就労・雇用

第5章 環境保全、街並み緑化・公園・景観形成、地球温暖化対策、環境衛生、上水道、下水道

第6章 防災、消防・救急、交通安全、防犯、消費生活

第7章 市民協働・参加、地域コミュニティ、行財政経営、高度情報通信ネットワーク、地域間交流・国際交流、広域連携

プロジェクト目標：「佐久市は住みやすいと」回答する人の割合【市民アンケート\*】

現状値	目標値
7 8. 7 % (H 2 8)	8 0 % (H 3 3)

\* 市民アンケート：総合計画に基づいて実施している市の取り組みに市民の皆さんが満足しているのか、その施策を今後も必要としているのかといった意見・意向を市の施策へ反映することを目的としたアンケート調査。市内に在住する16歳以上の方1,000人を住民基本台帳から無作為抽出し2年に1回実施

## 5 重点プロジェクト「健やかに暮らし続けることができるまち」

市民が健やかに暮らしていくためには、心身ともに健康であることが重要であるため、日常生活、地域社会、地域経済を支える市民の健康づくりに取り組みます。

関連施策：第1章 文化芸術、生涯学習、スポーツ、人権尊重社会

第4章 健康増進、保健活動、医療、医療保険・国民年金、地域福祉、  
介護・高齢者福祉、障がい者福祉、ひとり親家庭支援・低所得者福祉

プロジェクト目標：健康寿命\*【佐久市調】

現状値		目標値	
男性	80.92歳	男性	延伸
女性	86.55歳（H26）	女性	延伸（H32）

\*健康寿命：日常的に介護を必要としないで自立した生活ができる生存期間のこと。プロジェクト目標は、「日常生活動作が自立している期間の平均」について介護保険の要介護度2以上を日常生活動作が自立していない期間として算出したもの